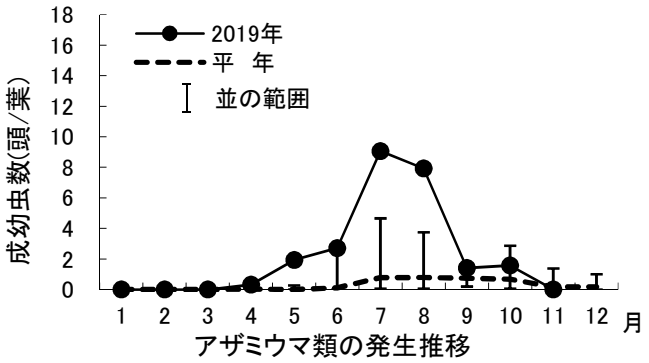
平成　31 年度　　1 月予報

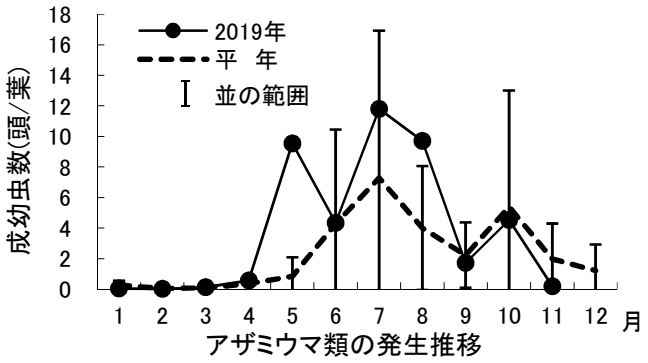
作物	マンゴー	地域	沖縄群島
病害虫名	チャノキイロアザミウマ		
予報	1 月の発生量（平年比）	―	
	12 月からの増減傾向	―	
予報の根拠	12 月の発生量（平年比）	―	
	その他 (気象要因など)	―	

調査結果

（見取り調査）　〈中央値〉

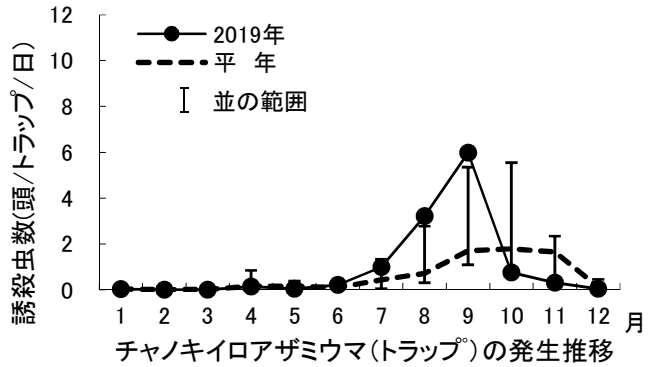


〈平均値〉

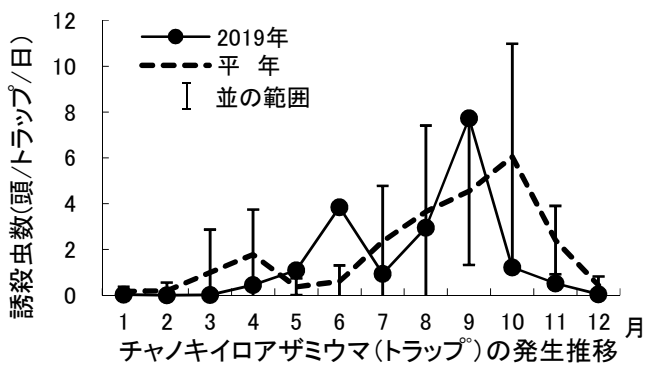


・新梢数が基準に満たなかったため12月のデータなし

（トラップ調査）　〈中央値〉



〈平均値〉



防除のポイント

・コミカンソウ類など、発生源となる施設内外の雑草を除去する。
・出蕾・開花期における本種の増加を抑制するため、ビニール被覆前後に予防散布を行う。
・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。
・不要な新梢は、施設外に除去する。

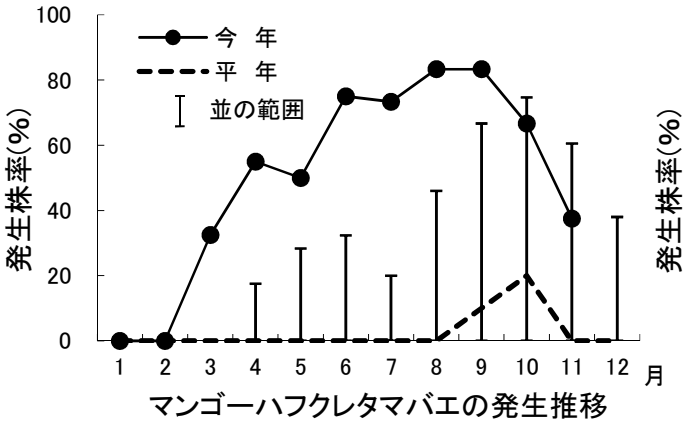
ナガエコミカンソウ

平成　31 年度　　1 月予報

作物	マンゴー	地域	沖縄群島
病害虫名	マンゴーハフクレタマバエ		
予報	1 月の発生量（平年比）	―	
	12 月からの増減傾向	―	
予報の根拠	12 月の発生量（平年比）	―	
	その他 (気象要因など)	―	

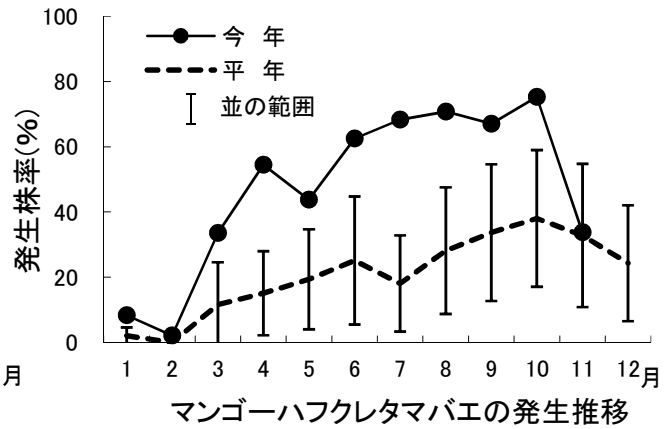
調査結果

〈中央値〉



マンゴーハフクレタマバエの発生推移

〈平均値〉



マンゴーハフクレタマバエの発生推移

・　新梢数が基準に満たなかったため12月のデータなし

防除のポイント

・幼虫は、新葉から新梢の軸までの柔らかい組織内に潜行して食害し、成熟すると飛び出し、地面に落下して蛹化する。

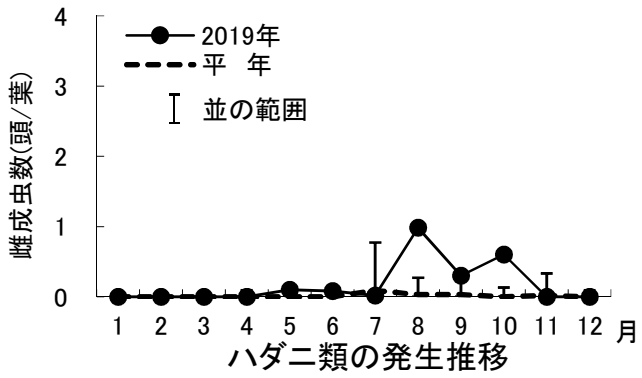
・不要な新梢は本種の発生を助長するので、早い時期に除去する。

平成　31 年度　　1 月予報

作物	マンゴー		地域	沖縄群島
病害虫名	① ハダニ類		シュレイツメハダニ	
予報	1 月の発生量（平年比）	並		
	12 月からの増減傾向	→		
予報の根拠	12 月の発生量（平年比）	並		
	その他 (気象要因など)	平年の発生量の推移（→）		

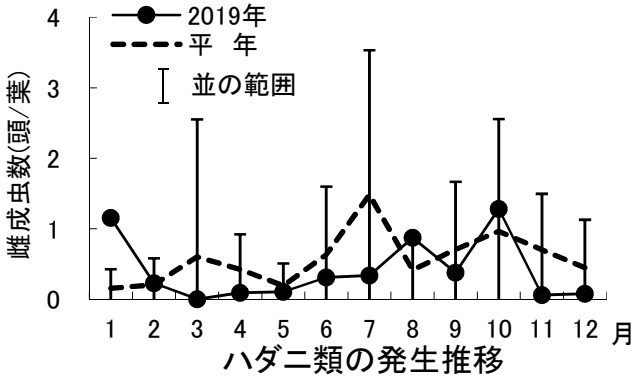
調査結果

〈中央値〉



ハダニ類の発生推移

〈平均値〉



ハダニ類の発生推移

- 発生種：シュレイツメハダニ
- 発生施設率：37.5%（平年41.2%）
- 新梢での寄生雌成虫数：新梢数が基準に満たなかったため12月のデータなし

防除のポイント

・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。

ハダニの寄生による葉のかすれ症